

福島県 教育新聞

発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 瀬戸 禎子
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

共済わくわくキャンペーン
実施中!!
ご応募は
こちらから⇒
教職員共済

スタートダッシュが大事! 働きやすい職場を!



委員長の
瀬戸禎子
です!

2025年度がスタートしました。今年度は、始業式・入学式が月曜日の学校が多く、大人も子どももヘトヘトの1週間ではなかったでしょうか。

さて、定年延長がはじまって3年めを迎えました。県教組では、年代や勤務形態に関わらず、すべての教職員にとって働きやすい職場環境の実現が一番大切だと考えています。新年度のスタートだからこそ、「昨年度からの継続」「例年通り」などを見直して、できるところから学校の働き方改革を進めてみませんか。

☆清掃は毎日行わなければならない?!

学校規模にもよりますが、清掃の回数を減らしている学校が増えています。清掃が無い日は、子どもたちが自由に使える時間や一斉下校を設定する学校もあります。

また、清掃前後のあいさつ等も班ごとに行い、放送ではなく時計を見て行動するようにしている学校もあり、子どもたちの成長につながっています。



☆設定された部活動休養日や部活動練習時間の上限を徹底させましょう!

中学校の部活動では、平日週1日及び土日どちらかを休養日にすることが「教職員働き方改革アクションプラン」での重点取組になっています。また、小学校の特設クラブも中学校に準ずるとされています。

さらに、練習時間の上限は、平日2時間、休業日は3時間となっています。担当職員の負担だけでなく、子どもたちの健康のためにも休養は大切です。学校全体で取り組めるといいですね。

☆教材研究の時間の確保を!

学校を訪問すると、小学校・中学校問わず学期末事務整理日を設けているところがかかなり多くなりました。

また、下校時刻を繰り上げ、集中して仕事ができる時間を確保することは、多忙化解消に向けた第一歩です。

一年の見通しを持つこの時期だからこそ、職員会議で話題にし、年間を通した教材研究や事務整理の時間を設定しましょう。



☆授業参観や懇談会の持ち方は?!

4月は、PTA総会や学級懇談会を設定するため、必ず行われる授業参観ですが、みなさんの学校では年間何回ぐらい行っていますか?

もちろん、保護者に子どもたちの様子を見ていただき、学校のことをご理解いただくためには授業参観は大切な行事です。しかし、その回数は学校で検討することができません。保護者にとっての負担となることも考慮し、授業参観の回数や内容など年度初めのこの時期だからこそ見直してみてはいかがでしょうか。



「春闘」ってなに？関係あるのは民間企業だけ？

いえいえ、私たちの働き方を変える大きなチャンスです！

2月頃になるとテレビ等でよく聞く『春闘』ですが、労働組合が賃金や一時金、労働条件改善などについて、使用者（経営者）と行う交渉のことをいいます。

私たち地方公務員の場合、賃金・一時金については人事委員会の「民間給与調査」を資料として見直しが行われます。つまり私たちの賃上げは、「この『春闘』で民間企業がどれだけ賃上げを実現できるのか」が大きなポイントとなるのです。

また県教組では、ワークライフバランス実現に向けた労働時間短縮や業務見直し、充実した教育環境の実現に向け、県教委に対して要求書を提出し春闘の交渉をしています。今年度は、4月24日(木)に県教委との交渉を実施します。学校の実情を踏まえ、以下のような様々な要求事項と改善策を訴えてきます。

● 教職員の働き方改革

- ・業務量を減らすことでの長時間労働解消
- ・休日の部活動の地域移行の見通しと予算確保
- ・さらなる研修の負担軽減

● 教職員人員増・採用

- ・代替者・補充者の完全配置
- ・スクール・サポート・スタッフの全校配置
- ・事務職員、栄養職員の賃金改善と受験年齢の引上げ
- ・臨時的任用職員・任期付職員・会計年度任用職員の勤務労働条件の改善
- ・教職員採用試験受験者増のための具体的施策

持続可能な
学校を！

● 暫定再任用と定年延長

- ・暫定再任用制度の賃金、労働条件の改善
- ・暫定再任用、定年延長での業務量や異動の負担軽減

● 休暇制度

- ・子育て・家族看護休暇の日数拡大
- ・出生サポート休暇（不妊治療のための休暇）の拡大
- ・看護・介護を長期間行い、復職が補償される休暇制度の新設



2025原発のない福島を！県民大集会

3月15日(土)福島市パルセいいざかにおいて、「2025原発のない福島を！県民大集会」が開催されました。

原発事故から14年が経過した今集会には、福島県内だけでなく全国各地から1,000人以上の参加があり、「福島原発事故を風化させない」という思いを共有することができました。

「さようなら原発1000万人アクション」の佐高 信さんから連帯のあいさつを受けた後、福島大学食農学類教授の小山良太さんから「原発事故の教訓をどう生かすか」という演題で講演をいただきました。震災直後、生産者にとって一番必要な放射線の情報がなかったこと、JAと協力し独自の調査で営農再開を進めてきた経過など、原発事故から15年めの状況を分かりやすくお話をいただきました。

福島からの発信は、二本松営農ソーラーの近藤 恵さんから営農型太陽光発電の報告を、生業訴訟原告団の中島孝さんから原発災害後に生業を奪われた生産者や仲買業者の訴訟に対する苦勞などが報告されました。

若者からの発信として、第27代高校生平和大使から発言がありました。震災当時、3、4歳だった平和大使から福島を風化させない訴えに、元気をもらいました。



司会をつとめた
県教組遠藤さん(左)

つぶやきからはじまる働き方改革！ 教職員がワクワクする職場に

～S支部K小学校の取り組み～



今回ご紹介するK小学校では、職員室の机の配置を工夫し、職員間の打合せ等をすぐできるようにしました。「こんなふうに変えたらどうだろう？」「これを無くしてもいいのでは？」職員間の「つぶやき」をお互いに拾いやすくなり、「つぶやき」だったものが全体で共有され、実現可能な取り組みとなっていったそうです。

25年度が始まりましたが、年度途中でも「ちょっと試しにやってみようか！」とアイデアを出し合ってみませんか。

平日の日直廃止、週番も廃止！

はじめに取り組んだのが、平日の日直廃止でした。他校でも無くしている事例があったため、導入しやすさはあったそうです。

子どもたちの下校後、職員室に戻りながら各職員が担当場所の施錠確認をし、管理職が最終確認。負担軽減につながりました。

同時に、それまであった週番も無くしました。

教科担任制を導入！（高学年が中心）

教頭…理科

教務…外国語・外国語活動

非常勤講師…社会（複式の学年）

※このほか、ブロック内で音楽や体育を分担



教員の得意分野を生かしながら
複式指導を縮小！
空き時間も確保できるようになりました。

学習発表会の学年単位の発表を全校生の表現活動へ！

数年前から、各学年で発表していた学習発表会を「全校生の表現活動」の発表に切り替えました。小規模校であることを生かし、全校生でミュージカルを実施！音響スタッフなどとして職員も一緒に参加し、保護者や地域みなさんに発表しました。大変好評で、24年度は2ステージ発表し、子どもたちも大きな達成感を味わえたそうです。

- ・練習や準備は、総合・音楽・体育・図工の教育課程に位置づけ。
- ・「高学年になると、あんな素敵な役を演じるんだ…」と低学年の子どもたちの憧れになりました。
- ・自分の学年以外の子どもたちと関わる機会が増えました。



教材費の一括管理で事務職員と教員が連携！

K小学校のある自治体では、学校に対して教材費の支給があります。これを事務職員が一括管理しています。（学級担任は、購入伺いのみで会計処理は行いません。）

事務職員の専門性を生かすことで、会計処理もスムーズに進み、教員の負担減につながっています。



学期末に実施される教育課程の反省から、すぐにアップデートし、できることはまず「やってみる」で働き方改革を進めてきたK小学校。このほかにも、全校縦割り給食の日の設定、短縮授業の導入など、「つぶやき」がボトムアップとなり、「働きやすい職場」づくりにつながっています。



は学校でか! Monster 松

県教組中央執行委員新メンバー紹介



- ① 役職名 ② 名前 ③ 得意技を教えてください。
④ 弱点はなんですか? ⑤ 意気込みをどうぞ!

- ① 中央執行委員(中核市支部担当) 福島
② 酒井 和紀(さかい かずのり)
③ 焚火。マッチ一本でできるはずだけど、コロナ以降やってないので…。
④ 集中力がない。あれもこれもいろいろやりすぎてしまう。片付けも苦手。
⑤ 支部に専従がいる最後の年なので、持続可能な支部をつくるための体制をつくっていきたいです。



お知らせ

2025年度組合手帳の50ページ「一般財団法人福島県教職員互助会指定旅館一覧表」について変更のお知らせです。変更は以下の通りですので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

削除

アットホームおたまた
→宿泊営業終了のため。



LINE公式アカウント

ぜひ友だち登録
お願いします!
@894amadj



最新の情報をお届け♪
学習会等のお問い合わせ
や、日々のお悩みも気軽に
ご相談ください!



みんなのひろば

～ウグイ(鰻)～

退職教職員協議会双葉支部会報の中で、会員の俳句に合わせてウグイの絵を描いてみました。上手に描けたので、投稿してみました。(双葉支部 Sさん)



みんなのひろば 原稿募集

このコーナーは、組合員のみならず、ほっこりしたり、感動したり、ためになったりするような素敵な情報をお待ちしております(*^_^*) 掲載された方には御礼としてクオカードをプレゼントいたします!

★メール (ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp) や
FAX (0120-17-9312)、公式LINEでお
寄せください。